

# 今津灯台 付立札1枚

イマツトウダイ ツケタリタテフダイチマイ



指定日：昭和49年(1974)3月20日 種別：建造物

今津灯台は、文化7年（1810）に長部家5代長兵衛によって創建された。現存しているのは、安政5年（1858）に6代文次郎が再建したものである。当初、灯器は油皿を用い、周囲に油障子をかけて風を防ぐ行灯式であった。大正時代初めに電化されたことにより、油障子は除かれたが、その他はほとんど旧態のままである。後世の改修は多少みられるが、古い行灯式灯台の遺例として文化史的意義は深い。令和2年度(2020)に日本遺産に認定された「伊丹諸白」と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地伊丹と灘の構成文化財となっている。